

あなたの声を議会に...

No.133

(年4回発行予定)

令和4年11月15日発行



# 市議会だより



牛根小児童による太鼓演奏 (R4.9.21 道の駅たるみず)

## 目次

【令和4年第3回定例会】	
【令和4年第2回臨時会】	2～
常任委員会審査結果	4～
一般質問	6～
議案等の審議結果	13～
庁舎整備検討特別委員会	15
令和4年第4回定例会日程案	
編集後記	16

発行／垂水市議会  
 編集／垂水市議会だより編集委員会  
 鹿児島県垂水市上町114番地  
 Tel 0994-32-1111 (内線358)  
 メールアドレス  
 t\_gikai@po.city.tarumizu.kagoshima.jp



垂水市議会  
ホームページの入り口

令和4年  
第3回定例会

# 一般会計補正予算 (第3号)(第4号)(案)可決 一般会計予算総額 122億7,907万円

第3回定例会は、9月2日から26日まで25日間の会期で開かれ、32件の議案や陳情等が審議されました。定例会では、プレミアム付商品券事業やコロナワクチン接種事業、市道や用排水路改修事業等に係る一般会計補正予算(第3号) 2億8753万円が全会一致で可決されたほか、教育長・教育委員会委員の任命(ともに再任)、人権擁護委員2名の推薦(ともに再任)については、それぞれ全会一致で同意・適任と認められました。

また、追加上程された一般会計補正予算(第4号)では、オミクロン株に対応した新型コロナウイルスワクチンの接種体制の確保に係る費用や、牛根麓漁港広域漁港整備事業に係る増額1億7374万円は、全会一致で可決されました。

※審議結果は13・14ページに掲載

一般質問では12名の議員が登壇し、執行部と論戦を交わしました。

※各議員の一般質問は6ページから掲載

## ～令和4年度一般会計補正予算(第3号)の主な事業～

### 商品券事業補助金

6,636万円

全世帯を対象にプレミアム付商品券を販売するもの(プレミアム率25%)

### 市道等工事請負費

2,900万円

垂水36号線・25号線の道路改修工事や垂水45号線側溝改修工事などに伴う経費

一般会計補正予算(第3号) 2億8,753万円

### 用排水路改修工事費

1,125万円

高城川原地区排水路・新御堂下片平田地区用水路布設工事に伴う経費

### ワクチン接種委託料

844万円

新型コロナウイルスワクチン4回目接種の対象拡大に伴う経費

## 人事案件

○垂水市教育委員会教育長	坂元 裕人 氏 (再任)	任期3年
○垂水市教育委員会委員	田之上 厚美 氏 (再任)	任期4年
○垂水市人権擁護委員会委員	後迫 タツエ 氏 (再任)	任期3年
	大迫 玲子 氏 (再任)	任期3年

令和4年  
第2回臨時会

# 一般会計補正予算(第6号)(案)可決 一般会計予算総額 126億4,635万円

第2回臨時会は、10月21日の会期1日で開かれました。

臨時会では、報告2件と、議案2件が審議されました。

国の価格高騰緊急支援給付金事業や新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金事業のほか、災害関連事業等に係る一般会計補正予算(第6号)2億4614万円の増額は、全会一致で可決されました。

また、10月19日の契約保証金検査特別委員会における市長の答弁に基づき、「垂水市長等の給与に関する条例の一部を改正する条例案」が上程され、審議の結果、賛成多数で原案可決となりました。

※契約保証金検査特別委員会の協議内容は、P15参照



## ～令和4年度一般会計補正予算(第6号)の主な事業～

### 価格高騰支援給付金(非課税世帯等)

1億5,475万円

令和4年度住民税均等割の非課税世帯・令和4年1月以降の家計急変世帯へ一律5万円支給

### 価格高騰支援給付金(非課税世帯以外)

2,510万円

令和4年度住民税均等割のみの課税世帯へ一律5万円支給

垂水市長等の給与に関する条例の一部を改正する条例案

採決までの流れ

10月18・19日 第2回契約保証金検査特別委員会開催

市長答弁

「不明金の判明から3年が経過し、事案の解決に至っていないことで市民の皆様にご心配をおかけしていること等について、市の責任者である私が、現時点で一定の責任を取る必要がある」との市長答弁(19日)

議案上程

説明・質疑・採決

賛成8・反対4

原案可決

市長の給与月額を30%減額(令和4年11月1日～令和5年1月26日の間)

# 産業厚生委員会

9月15日に産業厚生委員会が開催され、9月2日・13日の本会議において付託された議案や陳情について審査されました。審査の際の主な質問と回答について紹介します。

## 令和4年度垂水市一般会計補正予算（第3号）案

### 付託内容

委員会所管の事項で、新型コロナウイルスワクチン接種事業、新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金事業の通常分及び原油価格・物価高騰対応分に係る増額などを審査。

### 主な質疑

**問** 訪問給食の利用者に対して、味や内容のアンケートなどの調査は行っていないのか。また、市外業者も含めた競争入札を行う考えはないのか。

**答** 行っていないため、まずは担当課において食事の内容について確認をしたい。契約については、市外業者からも話があるが、市内業者の育成ということで、現在、



## 委員 会

市内業者と委託契約をしている。

**問** 秋の産業祭の実施判断はいつか。

**答** 実行委員会を3回開催することとなるが、今のところ実施する方向で進めている。今回はテイクアウトをメインとして実施する予定であるが、実行委員会で状況を見ながら判断したい。

**問** プレミアム付商品券について、使用されるのが大型店舗に偏っている状況であるが、どのように考えているのか。

**答** 垂水市は、実態的に大型店舗に偏る状況なので、商工会が大型店舗以外の店にも行ってもらうような取組をする。

**問** 環境センターの将来的な方向性はどうか。

**答** 具体的な方向性は現在のところ決まっていないが、築22年が経過しており、ごみ処理では肝属地区清掃センターへの広域化もあるので、近隣の鹿屋市などと協議していきたい。

## 令和4年度垂水市漁業集落排水処理施設特別会計補正予算（第1号）案

### 付託内容

令和3年度漁業集落排水処理施設特別会計の繰越金の確定に伴い、補正するもの。

### 主な質疑

**問** 境地区のマンホールの騒音問題について伺う。

**答** 把握はしており、引き続き調査・協議しながら解決するよう努めたい。

## 令和4年度垂水市一般会計補正予算（第4号）案

### 付託内容

新型コロナウイルスワクチン接種事業、牛根麓漁港広域漁港整備事業負担金の増額を審査。

### 主な質疑

**問** 12歳以上の子供の新型コロナウイルスワクチン接種の現状は。

**答** 12歳から17歳の接種状況は、46・3パーセントである。



## 川内原発の運転期間を20年延長しないことを求める陳情

### 陳情内容

1. 住民の安心・安全な暮らしが必ず守られるという確証なしに20年運転延長は認められないとの決議を求める。
2. 政府と県に対して、市議会からの原発40年運転期間を守る意見書の提出を求める。

### 意見

○慎重に審査をする必要があるため、継続審査がよいのでは。

【採択結果】賛成多数で「継続審査」



# 総務文教委員会

9月16日に総務文教委員会が開催され、9月2・13日の本会議において付託された議案について審査されました。審査の際の主な質問と回答について紹介します。

## 令和4年度垂水市一般会計補正予算(第3号)案

### 付託内容

委員会所管の事項で、地方公務員等共済組合法の一部改正に伴う会計年度任用職員等の地方公務員等共済組合の適用に係るもの、住宅取得費助成事業の商品券やまちづくり交付金の増額、庭球場のナイター設備や体育施設の修繕などを審査した。

### 主な質疑

**問** 庭球場のナイター設備の修繕はどうなっているか。

**答** 水銀灯など製造停止のものがあ  
るため、変圧器から換える必要がある。発注後、3か月以内には完成させたい。



**問** 定住促進事業において、本市転入者への意見集約や、今後に生かす取組は。

**答** アンケートの形では取り組んでいないため、今後そういった視点を取り入れて考えていきたい。

## 垂水市職員の育児休業等に関する条例の一部を改正する条例案

### 付託内容

人事院規則の10月1日からの施行に伴い、非常勤職員の育児休業取得要件を緩和し、夫婦交代での取得や、

特別な事情がある場合の柔軟な取得を可能とするもの。

### 主な質疑

**問** 会計年度任用職員が育児休業を取得しやすい環境整備はどうしているのか。

**答** 常勤職員と同様に、毎年、代替職員の予算計上をしている。会計年度任用職員が育児休業を取得した場合、新たに会計年度任用職員で代替える対応を考えている。



## 令和4年度垂水市国民健康保険特別会計補正予算(第1号)案

### 付託内容

未就学児均等割保険料軽減制度の創設に伴うシステム改修費用や会計年度任用職員の共済組合移行に伴う社会保険料関係の補正。

### 主な質疑

**問** 未就学児均等割保険料軽減制度の法的根拠は。

**答** 国の普通交付税の繰出し基準の中で、当制度に係る繰出し基準が示されている。

## 議会における多様な人材の活躍できる環境整備を求める陳情

### 陳情内容

1. 議員の定数を減らし、その削減した議員報酬をもとに議員報酬を引き上げること。
2. 適切に市民公開することを前提として政務活動費を設けること。

### 意見

- タイトルと目的に整合性がない。
- 改めて陳情者の話を聞く場を設けるため、継続審査はどうか。
- 本市の縦長の地形から、多様な地域の意見を反映させるためには議員は減らせない。

【採択結果】賛成多数で「継続審査」

令和4年 第3回定例会

# 一般質問

12議員が登場!

新型コロナ対策実施中  
(マスク着用・アルコール消毒・換気)

## 市政を問う



第3回定例会において、12名の議員が一般質問を行いました。

※掲載内容については、質問と答弁の要旨を質問者の文責により掲載しています。詳細な内容については、市役所3階情報公開室や図書館等にありますが“会議録”をご覧ください。会議録は市役所ホームページからもご覧いただけます。

12番	11番	10番	9番	8番	7番	令和4年9月14日	6番	5番	4番	3番	2番	1番	【質問者】 ※質問順
感王寺 耕造 議員	持留 良一 議員	北方 貞明 議員	篠原 静則 議員	川畑 三郎 議員	新原 勇 議員		梅木 勇 議員	池山 節夫 議員	前田 隆 議員	森 武一 議員	池田 みすず 議員	堀内 貴志 議員	令和4年9月13日
P12	P11	P11	P10	P10	P9		P9	P8	P8	P7	P7	P6	



堀内 貴志 議員

### 桜島爆発レベル5の対応 市民への情報伝達は

**問** 7月24日20時5分桜島が爆発し、20時50分に噴火警戒レベルが5に引き上げられたことを受け、県は災害対策本部、国で官邸対策室が設置された。

またスマホでは噴火警戒アラーム、テレビ各局では特別番組で桜島の爆発を一齐に放送した。一方で、鹿児島市はこの時点で未対応だったことを受け、対応の遅れを指摘した人もいたが、本市の対応は最善だったのか。

また市民への情報伝達について考えるべきであったと思うが見解は。

**答** 本市の対応は、地域防災計画に基づいて実施したので問題はなかったと考えている。市民への情報提供は、同日23時16分、市のホームページに本部設置・本部会議を開催した旨の情報を掲載し、翌日8時30分にFM放送により、国道224号迂回の情報等を配信した。最悪を想定し冷静な対応も必要である。今回このことも踏まえて、人災ゼロに向けて整理し、対応していきたい。

### 路線バス廃止に伴う 本市の影響について

**問** 鹿児島交通23系統廃止に伴う影響、本市では垂水港く桜島港間・垂水港く鹿屋く志布志間の2系統が該当するが、仮に廃止になると通勤・通学・通院など、利用される方々に大きな影響を及ぼすことになる。今後の実情について伺う。

**答** 路線バス運行事業者から慢性的な運転手不足や利用者減少、原油価格の高騰化等に伴う経営悪化を要因として県内全23系統を対象として提案されたもので、本市に影響のある路線は、2系統である。実態を把握するために、本市独自で利用者の乗降調査を実施して、その結果を踏まえて関係する沿線市町、地域バス対策協議会、県や路線バス運行事業者を含めて協議を重ねてきた。

2系統とも、なるべく利用者に影響のない時間帯の便は減便されるが、路線の維持はするというところで沿線自治体とも合意が取れている。地域バス対策協議会において承認が取れたら、10月1日から見直しされたダイヤで運行が開始される。

### 【その他の質問】

○10歳代・20歳代の投票率向上の方策について

○曾於市で発生した樹木落下事故を踏まえての樹木の点検について



池田みすず 議員

PCR検査等の現状について

**問** PCR検査等の現状と市の対応、また、市内の医療機関におけるPCR検査等の具体的な数について伺う。

**答** 医療機関における検査希望者は、1日の感染者数が過去最高の55名となったお盆の時期から急増したものの、9月以降はピーク時より減少傾向にある。市民に対する市の対応としては、無症状者は県実施の無料PCR検査機関の案内、発熱等の有症状者には県設置の受診相談センターや発熱外来医療機関を、電話や市ホームページで案内している。

具体的な検査数については、垂水中央病院の報告数、令和2年は153件、令和3年は2255件。令和4年は4月455件、5月306件、6月389件、7月702件、8月756件と、流行の第7波に入ったとみられる7月から急激に検査数が増加した状況である。

**問** 医療機関で検査不可の場合、市民が個人購入できる市販の検査キットの使用上の注意点等について伺う。

**答** 市販されている抗原定性検査キッ

トは、研究用と医療用の2種類がある。研究用の検査キットは診断を目的としない製品であり、品質や有効性、安全性等の確保が確認されたものではないため、厚生労働省は薬機法に基づく承認を受けた医療用抗原検査キットを選ぶこと等を通知している。

また、本市は厚生労働省の通知に基づき、研究用抗原検査キットの留意事項について市ホームページで周知を図っている。

**問** 検査キット購入に対する新たな助成について伺う。

**答** 本市の新型コロナウイルス感染症検査費用助成事業は、医師の診断を伴う医療機関での検査のみを助成対象としている。しかしながら、本助成事業は創設当時の趣旨や目的、保健所への感染者の全数把握の見直し等、状況が大きく変化していることから、状況に応じた検査費用助成の可否及び助成対象の拡充を含めた制度の見直しの検討を開始したところである。

【その他の質問】

○子どもたちの学力について

○子どもの遊び場を提供するための体育館無料開放について

○おおすみ観光未来会議について



森 武一 議員

職員が子育てしやすい環境整備について

**問** 総務課においては、すでに業務量が過多であり、その中でさらに業務の効率化・省力化を担うことは難しいと考える。

そこで、効率化・省力化を推進するための職員を1人でも配置することが必要だと考えるが、考えを伺う。

**答** 今すぐどうということとは当然その年度ごとのできることを考えながら、今総務課のほうでも検討している。

観光振興について

**問** 南の拠点基本構想で、南の拠点の効果と目標を達成するために地域DMOが必要とされている。地域DMOの役割として体系的な観光戦略等がある。しかし未来創造商社の定款に地域DMOの役割の記載がない。体系的な観光戦略、観光振興戦略が必要だと考えるが、考えを伺う。

**答** 足りないところもあるのではないかと伺うのは、そのとおりであるが、この10年間で大きく、観光の交流人口、あるいはそのことによる経済効果というのは大きく前に進んで

いるというふうに思っています。

墓地について

**問** 管理等が難しい要因の一つとして、一度、申し込まれた方に対して接点がない。そうすると相続などで管理者が不明になってくる。そこで例えば20年ごとの更新制を設け、接点がある制度設計について考えを伺う。

**答** 市営墓地については、墓地の使用許可後、改葬等が行われるまで、墓地使用者と面会することはほとんどない。また、使用申請者が亡くなられた場合、墓地の承継許可申請をしていたかどうかとなっているが、一部の墓地については、手続がなされていない。その為空き墓や遺骨が残されたままの納骨堂の解消ができないことの一因ではないかと思われる。改めて墓石台帳による使用者の確認作業を行っていききたい。

いわゆる無縁墳墓等の対応については、法令に基づき行政等において撤去できるようであるが、撤去に当たっては、代執行にかかった費用の回収が困難な場合など、様々な課題が考えられることから、先進自治体の対応状況について調査研究をしながら、本市の実情に合わせ、どのような対応ができるのか検討する必要があると考えている。



前田 隆 議員

耐震補強工事の  
資金計画について

**問** 財源は補助金、市有施設整備基金、市債等が考えられるが資金計画についてはどのように考えているか。  
また、財源構成についてと、地方債活用で他の更新事業費とのバランスは財政改革プログラムの通常債6億円との関係でどのように考えているか伺う。

**答** 補助金については二つの事業を紹介しているが、有利な交付税措置のある地方債（緊急防災・減災事業債）との併用ができない。地方債は、有利な地方債の活用を検討している。市有施設整備基金は充当可能である。現在、財政改革プログラムは策定していないが、他の更新事業費とのバランスについては明確な事業費が分かり次第、財政改革プログラムの基本的考え方を念頭に各種検討し、改めて、財源構成等は外部検討委員会や議会庁舎整備検討特別委員会にお示しし、ご意見を頂きたいと考えている。

プレミアム付商品券について

**問** 前回のプレミアム付商品券の購入状況と評価について、過去と比較してどうだったか。  
また、今回予算化されている事業内容と全世帯給付の検討はなかったのか伺う。

**答** 前回はプレミアム率を大幅に下げたことから、すべて販売するまで2次販売をするなど時間を要した。また購入状況は、1次販売で購入された2570世帯が2次・3次販売でも再購入され、世帯員数や年齢構成により、購入希望額に差異が出た。買い求めやすい3千円券を販売したが1万円単位が先に売れ、最後まで残ったが最終的に完売し、総額2億7千万円の効果が市内経済にあった。2回目はこれまでの実績を踏まえ、市民目線では購入上限並びに販売金額の見直し、商工業者目線では販売総額並びに販売冊数について検討した。具体的には5千円券を4千円で販売し上限を8万円とし、販売冊数は10枚と20枚の2通りの冊子を用意し、事業総額3億円とした。全世帯給付は郵送等の経費・留守等の再送などの問題もあり、市民の消費意欲喚起策の商品券販売を選択した。

【その他の質問】

- 有害鳥獣被害と猟友会活動
- 土地の相続未登記問題



池山 節夫 議員

市政について

**問** 都市下水路事業については、前水迫市長時代に財源不足のために苦渋の決断をされて、議会に中止の議案を提出された。私もやむを得ないと考え、この議案に賛成した経緯がある。

しかしながら、地球温暖化による異常気象が線状降水帯をつくり、集中豪雨による被害が各地で発生している現状を考えると、垂水市もいつ集中豪雨に見舞われるか危惧される。都市下水路事業を復活し、将来の不安に備えるべきと考えるが、見解を伺う。

**答** 都市下水路については、現在の総事業費では40億円以上になるものと考えられ、事業の再開については厳しいと思うところである。

しかしながら、中央地区の冠水については、何らかの対策が必要であることは事実であり、現在、市長から冠水対策に取り組むよう指示を受けたところである。

**問** たるたるおでかけチケットについて、せめて1万円分のチケットが欲しいという要望をいただいたので、

検討できないか伺う。

**答** チケットの増額については、交付時においてアンケートを行っており、そのような要望もいただいているところである。

このため、チケットの増額については今後、検討課題であると認識は持っているところである。

**問** 消防団第一分団の施設建設について、他の分団の詰所は新築されたが、第一分団は消防本部の2階を借りて詰所としている現状がある。

第一分団施設も早急に建設すべきと考えるが、計画について伺う。

**答** 第一分団庁舎については、市役所敷地内に昭和46年9月に建設された建物で、築51年が経過し、老朽化も進み、現在は消防車両の車庫のみを使用しているところである。また、団員の詰所については、平成14年9月に消防本部が移転したことに伴い、庁舎の一部を第一分団詰所として使用しているところである。

令和4年6月30日、消防団長・第一分団長・第一分団後援会長が連名で第一分団庁舎新築移転の陳情書が提出されたことから、現在、消防本部内で協議を始めたところである。

【その他の質問】

- 垂水南之郷線沿いの奇岩について
- 若者から自主文化事業でジャンナーズを呼んでとの声がある。





梅木 勇 議員

粗大ごみ処理の課題について

**問** 昨年12月議会で過疎地域継続的発展計画に示された清掃センターについて、粗大ごみは肝属地区清掃センターへ排出者が直接搬入か、ごみ処理手数料の導入を検討するとなっていることに対し、住民サービスの後退であり、雇用の維持のためにも現状の維持継続と市の回収を要望したが、その後どのように検討されたか伺う。

**答** 計画ではごみの処理手数料は無料であることから、一般会計への負担が大きいことなどが課題として上げられている。鹿屋市串良町の肝属地区清掃センターへの排出者直接搬入は、牛根地区からであれば半日ほどかかり大変な負担になる。一般廃棄物処理業者等からは有料化の声や、また、以前のように各地区の指定場所か



荒崎の清掃センター

ら市の回収を望む声も聞かれている。本市の清掃センターの存続・持ち込み手数料有料化の検討については、市民の皆様から様々な声があり、慎重な検討が必要である。

道路等の整備について

**問** 市道脇田市木線の上市木地域の路面がひび割れ、へこみ、通行に影響があるが補修はできないか伺う。農道については雑草が生い茂り、車をこすりながら通行する所や、イノシシの被害が急増し、通行への支障や大雨・台風時には、ほじくられ崩れた路面から畑へ水が流れ込む箇所が随所に見られるが対処を。

**答** 4月から設置された環境整備班の活動状況を、また、環境整備班に小型重機等の整備が必要ではないか。イノシシ被害の対処については、通行に支障がある場合など宮農状況並びに防災の観点から、優先順位により流出土砂や排水路の土砂除去等を行っている。

環境整備班は土木課班と連携を取りながら、施設のパトロールや除草作業、路面補修等維持管理を行っている。重機整備については、土木課所有の重機を調整して使用したり、リース対応している。高額の購入費用や維持管理費用を考慮すると今後の検討課題としている。



新原 勇 議員

職員の中途採用制度について

**問** 鹿屋市は若い世代と職務経験者の職員採用と2通りあるが。市として幅広い人材と即戦力を求めて、2段階の採用をする考えはないか。

**答** 経験年数の長い会計年度任用職員については、その業務を理解していることから、即戦力になることは充分理解しているが、会計年度職員を経験年数等の実績で中途採用しようとすることは、競争試験を原則とすることや、公正かつ公平という趣旨に反し、市民の理解も得にくいので出来ないものと考えている。

消防本部のドローン配備について

**問** 現在市として2台のドローンを所有しているが、消防独自の物ではない。国としても消防の防災力・地域防災の充実強化を目指しているが、配備する計画は無いのか。

**答** 消防業務におけるドローン活用については、林野火災の延焼範囲確認や行方不明者捜索と多岐となる。現在ドローンが必要な事案が発生した場合においては、企画政策課が保有しているドローンを借用して対応することとしており、訓練を実施し

ている。現在のところドローンを活用する事案は発生しておらず、今後活用した事例が複数出た時点で改めて配備の必要性について検討を行うこととしている。



桜島大噴火について

**問** 7月24日桜島の爆発によりレベル5に引き上げられたが、大正噴火レベルの降灰が来た時の市民への影響と、非常時の防災グッズはどのような物が必要か。

**答** 自動車は降灰10センチで、4輪駆動車でも30センチで通行不能になる。降雨時はぬかるみ、少しの範囲も通行が困難になる。電力や通信などライフラインに関わるインフラについても影響を及ぼし、生活支援が広範囲かつ長期に及ぶ。国道の降灰除去、市道の幹線・末端の市道となるとかかなりの日数を要する。そのため、火山災害対策に限らず、各家庭で普段から防災備蓄品を備えておくことは大変重要である。災害に備えて最低3日、推奨で1週間の食料・飲料水・携帯トイレ・トイレトペーパーなどの備蓄や救急箱・懐中電灯・ラジオ・乾電池等の非常時持ち出し品の準備を住民に求めている。



川畑 三郎 議員

**協和地区のシンボルだった  
なぎさ荘跡地の整備は**

**問** 旧なぎさ荘跡地について、市としてはどう考えているのか。

**答** なぎさ荘は、協和小学校敷地に南九州観光開発株式会社が昭和40年に開業、海潟地区の中心的な施設であったが、平成8年に閉鎖され現在に至っている。その間、数回、土地の有効活用に関する話があったと伺っている。平成26年12月には、レジャー事業の総合開発や閉鎖した施設の再生に取り組んでいる企業による現地視察が行われたが、具体的な話に進展しなかった。水産関係の企業により事業用地取得について市に相談があり、示した複数の候補地の1つに旧なぎさ荘跡地も挙げられたが、具体的な話に進展しなかった。

今後も引き続き、土地の有効活用が図られるよう情報収集に努めたい。

**農政について**

**問** 台風14号で垂水特産のキヌサヤ、インゲンなど農作物は被害を受けた。荒廃農地再生事業・新規就農者支援事業・農地利用権の設定・中山間地域等直接支払交付金の現状について伺う。

**答** 新規就農者支援事業の状況は、平成28年から市の単独事業を創設し、支援事業として生活支援金を月額3万円の最長3年間、整備事業として農業機械等の購入費を最大100万円補助している。農地利用権の設定については、農地を貸し借りする場合、農地中間管理事業による管理機構を通じてする方法（令和3年度までの3年間合計422筆36ヘクタール）、農業経営基盤強化促進法による農用地利用集積計画で設定する方法（令和3年度までの3年間合計640筆59ヘクタール）がある。

中山間地域直接支払交付金は、農業の生産条件が不利な地域における生産活動を継続するため、国が費用の半分、残りを県と市が半分ずつ負担している。現在、令和2年度から6年度までの5年間で5期対策として行っている。

**水産業について**

**問** 水産業振興で新たな事業は。

**答** 販路拡大支援事業で、垂水市漁協ですしネタとしての販路で宅配し業界日本一の「銀のさら」において、10月から12月の3か月間の期間限定だが、120万貫分14トン、7000匹分の販売を予定している。また、カンパチの加工で不要となる中骨から身を抽出し、新たな商品開発にも取り組む。



篠原 静則 議員

**イメージカラーを活用した  
明るい垂水！**

**問** 岩手県宮古市はイメージカラーを活用したシティプロモーションを展開し、コロナ感染症の影響下、ユニークな発想で地域の活性化に取り組んでいるが、垂水でも同様の取組で景気の活性化はできないか。

**答** 市のイメージカラーとして、水に関連する特産品に恵まれ、錦江湾で養殖されたブリやカンパチなどの海産物が有名であることから、水色や青色が連想される。また、市の花である高峠つつじの赤色や桃色、市木である牛根松や猿ヶ城溪谷の森の駅などから緑色、千本イチョウからは黄色が連想される。本市は多様なイメージカラーが連想されるため、市民の意見等も伺いながら、イメージカラー制定の効果等について調査・研究を進めていきたい。

**かごしま国体の成功を！**

**問** 令和2年に開催予定であった国体が、コロナ感染症の影響で令和5年度に延期された。この間、世界情勢の変化や原油高騰による物価高で3年前と状況が変化しているが、大

会開催の予算規模、開催における経済効果の試算は。

また、国体終了後のフェンシング普及についての考えは。

**答** 予算は延期となった第75回大会の金額7790万円が基礎となる。具体的な内容・予算案については、適切な時期に議会でも審議されることになる。経済効果は、第75回大会において東京オリンピック等の影響もあり619億円の試算額であった。しかし、コロナ感染症対策が行われ、一定の制限下での開催が想定される。今大会は、試算額のとおり効果があるか不透明である。垂水の魅力発信、市民のスポーツ振興など、大会後の間接的・付随的な経済効果を高められるように取り組んでいきたい。

競技の普及については、整備された環境の下、全国大会の開催や各種大会・スポーツ合宿の誘致を積極的に取り組んでいく。併せて、小中学生を対象としたフェンシング教室を継続していく。

**宮前地区 ほ場整備の実現を！**

**問** 農地中間管理事業を活用したほ場整備に向け、一昨年12月に協議会が設立され取組がスタートしているが、農地集積の状況は。

**答** 農地利用権設定を加速化するため、推進員を1名増員して業務を行っており、令和4年8月末時点で面積割の集積率は62.2%となっている。



北方 貞明 議員

文化財の保存と調査について

**問** 和田英作画伯のアトリイ工は老朽化が進み、窓枠などは腐食しており、修理・補修が必要と思うがどうか。また、垂水海軍航空隊跡の防空壕を、歴史史跡として調査する考えはないか。

**答** 和田栄作画伯のアトリイ工は、昭和37年（1962年）に静岡県清水市三保から移転して60年以上が経過しており、平成17年（2005年）にリニューアルしているが、現在木製の窓枠等に経年劣化が進んでいる。アトリイ工の保存及び活用を考慮した修理については、今後の検討課題と認識している。

垂水海軍航空隊の防空壕が、浜平地区に存在していたことは文献等で承知している。関係課と合同で現地状況確認を行った。内部に構造物跡が確認されたこともあり、どのような調査ができ、費用などについて遺跡関係に詳しい業者に尋ねており、その結果を踏まえて関係課と対応を協議する。

職場環境整備について

**問** 垂水市職員安全衛生規則では、目的として、職員の公務上の災害防

止と健康保持増進を図るとしている。安全衛生委員会は規則で毎月1回開催となっているが、開催状況や審議内容はどのように改善されたか。

**答** 安全衛生委員会の開催状況は、令和3年12月議会で指摘を受け、令和3年度3回、今年度は5月以降、毎月開催している。委員会の審議内容は、安全衛生委員会を毎月開催し、管理職向けのメンタルヘルス研修会や新規採用職員向けのメンタルヘルスカウンセリングを実施することなどを審議している。

スピード感がない！ ごみ問題

**問** 令和3年6月議会で、ごみステーションは民地を借りて借地料を払っている集落もあると、9月議会で30集落あり、関係課と協議し検討すると答弁された。しかし、一年以上たっても30集落の聞き取り調査が終わっていない。

ごみ分別が始まって20年たっている。年間5万円借地料を払っている集落もある。この問題をどのように考えるか。

**答** 現在、借地料を払っている振興会は、土地所有者へ返還された1振興会を除き29振興会がある。まだ振興会長と会っていない7振興会がある。行政として一定の考えの整理が必要であるため、振興会へ訪問し状況を聞き取り、スピードを上げてしっかりと調査をして対応していきたい。



持留 良一 議員

地域の環境保全と地域経済への貢献にふさわしい取組に

**問** 再生可能エネルギーの導入・普及は、温暖化抑制のためにも喫緊の課題であり、一層の推進が求められている。

しかし、環境面や土地利用に関する規制の弱い日本では、きちんとしたルールや規制が未整備のまま、地域外資本や外国資本による利益追求を優先した乱開発が起き、住民の健康・安全や環境保全に関わる問題を引き起こしている。事業の立案及び計画の段階から情報を公開し、事業者、自治体、地域住民、自然保護関係者、専門家など広く利害関係者を交え、その地域の環境保全と地域経済の貢献にふさわしいものとなるよう取組んでいく必要があるのでは。

**答** 大規模な風力発電は、開発による自然災害への影響をはじめ景観や生息する動植物も含めた生体への影響、施設稼働に起因する稼働音や低周波の周辺居住地への及ぼす影響が想定される。地域住民等に積極的な情報公開や説明を行うことなど十分留意し、関係法令及び垂水市環境基本条例を遵守した環境影響評価の手続きを、適切に実施していく考えである。

ある。  
歯止めのかからない物価高騰  
市民生活を守る対策を

**問** 7月の全国消費者物価指数は、前年同月比2.4%の上昇。そして、物価上昇による家計負担は年間7.8万円にのぼると試算されている。特に、生活必需品が大きく値上がりしていることは、低所得者世帯にとつては重い負担になる。光熱水費や食料品等の生活必需品の消費額は、低所得者世帯でも影響が大きくなる。ぜいたく品と違って値上がりしたからといって消費を減らすことは困難。どうしても政治的支援が求められている。（再質問）非課税世帯だけではなく、非正規労働者・低所得者など幅広く生活困窮者がいる。市独自の給付が求められている。

**答** 国において、物価高騰に対応するため、住民税非課税等を対象にした1世帯当たり5万円の臨時給付金の支給を決定した情報があり、通知があり次第、給付を実施できるように準備を進めていく。

【その他の質問】

○加齢で難聴になった高齢者等への支援策（購入への補助）を  
○「戦争遺跡」の調査と保存への取組を

○コロナから市民の命を守る対策と課題



感王寺 耕造 議員

農・畜産業支援対策について  
(生産資材価格の高騰対策)

**問** 国のセーフティネット事業の利用状況について伺う。

**答** 本市が保険料の一部を支援している農業経営収入保険事業については、令和3年度で11件の農家が加入しているが、発動の実績はない。

畜産農家向けの肉用子牛生産者補給金事業35件、肉用牛肥育経営安定対策交付金制度3件、肉豚価格安定対策事業7件、ブロイラー価格安定対策事業3件と全ての農家が加入されているが、全てにおいて直近の発動はない。

配合飼料価格安定制度については、農協系統24件、系統外12件の36件が加入しており、公表されている直近の補てん金として、令和4年度第2四半期で配合飼料1トン当たり9800円となっている。

**問** 融資に頼りたい農家のために、政策金融公庫等への誘導など、相談窓口をつくる考えはないか伺う。

**答** これまでも各農家等の経営状況を伺った上で、利用可能な資金等の説明を行い、活用する資金の申請等に当たっては、政策金融公庫やJA等とともに連携しながら指導や助言を行っている。今のところ資金の借入れ等につながった実績はないが、引き続き利用可能な資金の情報収集・発信に努め、農業者の相談等に適切に対応していく。

**問** 国の補助事業は様々あるが、なかなか発動基準に合わない状況である。県内では独自の補助事業を創設している自治体もあることから、市単独の補助事業をつくる考えはないか伺う。

**答** 畜産農家の現状が厳しいことは、十分理解している。ウクライナ問題など、物価高騰をはるかに上回る要素もあり、当初の問題とは違うレベルの問題になっているため、できることを最大限やっていく。その中で喫緊のものに関しては、締め切りの近い制度もあり、十分理解されていないケースもあるため、まず対象者にしっかりと周知していく。しっかりとその制度を生かしながら、当然いような意味で陳情要望もしていく。

垂水市はどうだという部分もある中で、何ができるか精査して、また検討したい。

【その他の質問】

- 空き家解体事業について
- 樹木・学校施設管理について
- 部活動について

賛否が分かれた議案について (○：賛成、×：反対)

氏名	新原 勇	森 武一	前田 隆	池田 みずず	梅木 勇	堀内 貴志	川越 信男	感王寺 耕造	持留 良一	北方 貞明	池山 節夫	徳留 邦治	川畑 三郎	篠原 静則	○ 賛成	× 反対	審議結果
議案番号・議案件名	○	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	2	11	不採択
陳情第19号 議会における多様な人材の活躍できる環境整備を求める陳情																	
議案第65号 垂水市長等の給与に関する条例の一部を改正する条例 案	○	×	○	○	○	欠席		×	×	×	○	○	○	○	8	4	原案可決

## 令和4年第3回定例会に提案された件名と結果一覧

番 号	件 名	内 容	審議結果
議案第34号	令和3年度垂水市水道事業会計剰余金の処分及び決算の認定について	令和3年度垂水市水道事業会計の剰余金の処分や決算を審査するもの	原案可決及び認定
議案第35号	令和3年度垂水市病院事業会計決算の認定について	令和3年度垂水市病院事業会計の決算を審査するもの	認 定
議案第36号	垂水市職員の育児休業等に関する条例の一部を改正する条例 案	非常勤職員の育児休業取得要件の緩和や、柔軟な取得について改正するもの	原案可決
議案第37号	垂水市税条例等の一部を改正する条例 案	税制に関する法令等の一部改正に伴い、条文を整理するもの	原案可決
議案第38号	垂水市国民健康保険基金条例の一部を改正する条例 案	国保制度改革に伴い、基金の設置目的、積立及び処分に係る規定について改正するもの	原案可決
議案第39号	垂水市議会議員及び垂水市長の選挙における選挙運動用自動車の使用の公営に関する条例の一部を改正する条例 案	選挙運動用自動車の借入金額と燃料代の限度額を引き上げるもの	原案可決
議案第40号	垂水市議会議員及び垂水市長の選挙における選挙運動用ビラ並びに選挙運動用ポスターの作成の公営に関する条例の一部を改正する条例 案	選挙運動用ビラの作成単価の限度額と、選挙運動用ポスターの作成単価の基準額を引き上げるもの	原案可決
議案第41号	垂水市教育委員会教育長の任命について	坂元裕人氏を教育長に任命するもの(再任)	同 意
議案第42号	垂水市教育委員の任命について	田之上厚美氏を教育委員会委員に任命するもの(再任)	同 意
議案第43号	人権擁護委員候補者推薦につき意見を求めることについて	後迫タツエ氏の人権擁護委員推薦に当たり、議会の意見を求めるもの(再任)	適 任
議案第44号	人権擁護委員候補者推薦につき意見を求めることについて	大迫玲子氏の人権擁護委員推薦に当たり、議会の意見を求めるもの(再任)	適 任
議案第45号	令和4年度垂水市一般会計補正予算(第3号)案	新型コロナウイルスワクチン接種事業、新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金事業の通常分及び原油価格・物価高騰対応分等に係る増額補正	原案可決
議案第46号	令和4年度垂水市国民健康保険特別会計補正予算(第1号)案	未就学児均等割保険料軽減制度の創設に伴う費用や、会計年度任用職員の社会保険料関係の補正	原案可決
議案第47号	令和4年度垂水市後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号)案	後期高齢者医療保険料の過年度還付金に係る増額補正	原案可決
議案第48号	令和4年度垂水市介護保険特別会計補正予算(第1号)案	令和3年度決算に伴う繰越金や国・県等への返還金、市負担金の精算に伴う繰出金等の補正	原案可決
議案第49号	令和4年度垂水市漁業集落排水処理施設特別会計補正予算(第1号)案	令和3年度繰越金の確定に伴う増額補正	原案可決
議案第50号	令和4年度垂水市簡易水道事業特別会計補正予算(第2号)案	会計年度任用職員の共済費や、令和3年度繰越金の確定に伴う増額補正	原案可決
議案第51号	令和4年度垂水市水道事業会計補正予算(第1号)案	人事異動に伴う給料等の増額補正や、会計年度任用職員の法定福利費の減額補正	原案可決
議案第52号	令和4年度垂水市病院事業会計補正予算(第2号)案	垂水中央病院の医療機器・施設設備の更新に係る増額補正	原案可決
議案第53号	垂水市産業開発促進条例の一部を改正する条例 案	法改正に伴い、条例の一部を改正するもの	原案可決
議案第54号	令和4年度垂水市一般会計補正予算(第4号)案	新型コロナウイルスワクチン接種事業と牛根麓漁港広域漁港整備事業に係る増額補正	原案可決
議案第55号	令和3年度垂水市一般会計歳入歳出決算認定について	令和3年度各会計の決算を審査するもの→閉会中の決算特別委員会で審査することに決定	継続審査
議案第56号	令和3年度垂水市国民健康保険特別会計歳入歳出決算認定について		
議案第57号	令和3年度垂水市交通災害共済特別会計歳入歳出決算認定について		
議案第58号	令和3年度垂水市地方卸売市場特別会計歳入歳出決算認定について		
議案第59号	令和3年度垂水市老人保健施設特別会計歳入歳出決算認定について		
議案第60号	令和3年度垂水市漁業集落排水処理施設特別会計歳入歳出決算認定について		

## 令和4年第3回定例会に提案された件名と結果一覧

番号	件名	内容	審議結果
議案 第61号	令和3年度垂水市介護保険特別会計歳入歳出決算認定について	令和3年度各会計の決算を審査するもの→閉会中の決算特別委員会で審査することに決定	継続審査
議案 第62号	令和3年度垂水市簡易水道事業特別会計歳入歳出決算認定について		
議案 第63号	令和3年度垂水市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算認定について		
陳情 第19号	議会における多様な人材の活躍できる環境整備を求める陳情	議員定数の削減・議員報酬の引き上げ・政務活動費を設けることを求めるもの	不採択
陳情 第20号	川内原発の運転期間を20年延長しないことを求める陳情	安全の確証なしに20年の運転延長は認めない決議及び国・県へ40年運転期間を守る意見書の提出を求めるもの	継続審査

## 令和4年第2回臨時会に提案された件名と結果一覧

番号	件名	内容	審議結果
報告 第9号	専決処分の承認を求めることについて（令和4年度垂水市一般会計補正予算（第5号））	台風14号による災害復旧費及び災害応急対策費に係る増額補正	承認
報告 第10号	専決処分の承認を求めることについて（令和4年度垂水市地方卸売市場特別会計補正予算（第1号））	台風14号によるシャッター等の修繕に係る増額補正	承認
議案 第64号	令和4年度垂水市一般会計補正予算（第6号）案	国の価格高騰緊急支援給付金事業及び新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金事業や災害関連事業等に係る増額補正	原案可決
議案 第65号	垂水市長等の給与に関する条例の一部を改正する条例案	市長の給与を3か月の間、30%減額するもの（令和4年11月1日～令和5年1月26日）	原案可決

## ～ 議員の主な活動 ～ 【令和4年8月～令和4年10月】

- 8月22日(月) 桜島火山活動対策議会協議会（鹿児島市）
- 9月30日(金) 肝属地区清掃センター施設管理運営検討委員会（鹿屋市）
- 10月12日(水) 桜島火山活動対策協議会中央要望（東京都）
- 10月14日(金) 阿久根市制施行70周年記念式典（阿久根市）
- 10月17日(月) 木材PR・木材需要拡大の要望活動（垂水市）



10/12 桜島火山活動対策協議会中央要望



10/23 東九州自動車道夏井区間着工式

- 10月17日(月) 小規模市ネットワーク議長会宮崎県要望（宮崎市）
- 10月23日(日) 東九州自動車道夏井区間着工式（志布志市）
- 10月24日(月) 小規模市ネットワーク議長会県要望（鹿児島市）
- 10月24日(月) 佐賀県吉野ヶ里町議会視察受入（垂水市）
- 10月25日(火) 山梨県富士吉田市議会視察受入（垂水市）

## 庁舎整備検討特別委員会

8月17日に開催されました協議の内容をお知らせします。

8月17日開催

### 委員会等の開催状況について

7月15日に開催された「第4回庁内検討委員会」と、8月2日に開催された「第8回外部検討委員会」での報告・協議について、市当局が報告。

### 報告内容

庁内検討委員会では、外部検討委員会や庁舎整備検討特別委員会の結果報告を行い、市役所本庁舎の耐震補強の方向性について協議を行った。

外部検討委員会では、消防庁舎の補強計画案の報告を行った。

### 消防本部の耐震補強計画について

消防本部から垂水市消防本部耐震補強計画業務委託の概要、土木課建築係から耐震補強計画案を説明。説明後、質疑が交わされた。

## 契約保証金検査特別委員会

6月10日に設置され、9月2日・10月18・19日に開催されました協議の内容をお知らせします。

9月2日開催

### 計画概要

- ・ 契約相手 (株) 三反田設計
- ・ 契約額 316万8千円
- ・ 契約日 令和4年5月9日

### 業務経過

5月11日から現地調査が行われ、7月6日に設計会社から耐震補強計画案が提示。7月8日に外部検討委員会の鰻坂委員長や他委員とウェブ会議を行い、計画案は妥当であるとの回答。

### 工法の方向性について

外部検討委員会において、消防庁舎は市民の安全性や24時間勤務の職務体制のため、工期短縮の必要があり、在来工法である鉄骨ブレース工法が提案された。

### 協議結果

消防本部の耐震補強工法を「鉄骨ブレース工法」とすることを承認。

10月18日開催

議会に設置された契約保証金検査特別委員会の目的(方向性)・運営方針・進行について協議。

### 決定事項

○目的↓不明金における書面検査を行い、問題点の検証や再発防止策等の意見等を取りまとめて執行部へ提言もしくは決議書の提出を行う。

○運営方針↓「審議の際には、個人情報等について十分な配慮をし、適切な議事運営に努める」や「事業者を含む当事者への直接取材は行わないことや委員会でも知り得た情報について口外しない」など、9つの方針を遵守する。

○進行↓検査資料を決定し、執行部に提出を求める。資料の閲覧後、書面での質問通告提出後、執行部と協議する。

10月19日開催

追加提出分を含む関係資料の閲覧を経て、質問通告のあった6委員が関係課へ質問。管理者の点検や管理体制、報告が遅れた点や再発防止策、監査のあり方などについて質疑が交わされた。

### 協議後

市長の真意を問いたい4委員が総括質疑依頼書を提出。

10月19日開催

市長へ質疑依頼書を提出した4委員が総括質疑を実施。

### 協議内容

調査・報告・公表の遅れや管理責任に対する認識、謝罪等について市長が答弁。事案が解決していない点を重く受け止め、自らの給与減額条例案を臨時会へ提出するとの答弁もあった。

※臨時会はP3参照

# 垂水市の史跡めぐり

## ミンケン坂 (耳切坂)



椋原下と宮脇との境、宮脇川を山手へ（水之上方面へ通ずる）行くと、瀬戸山トンネルがあります。このトンネルの左側から段へ上って行く坂をミンケン坂と言っていました。

室町時代の終り、元龜、天正年間、肝付、伊地知氏と島津氏との戦いが、海瀉から牛根にかけて行われ、激しい戦いの末、咲花平（散花平）や入船城（牛根城）は島津氏の手落ち、肝付、伊地知氏の兵は、本城や高城、新城へ逃げて来ました。

島津氏の軍勢は、肝付氏側の残党を追いかけて、各地で戦いがあり、

この付近でも多くの死者があつて、戦死した人々の耳を切り取つて、人数を確かめたので、その耳切りからミンケン坂（耳切坂）と呼ぶようになりました。

この時、島津氏の家臣中津野太郎左工門は、段まで残党を追いあげて行きましたが、肝付方の兵と戦つて段で討ち死にしました。

## 血止めの坂

また、新城の戸越でも激戦があり、血が水のように坂を流れ、それを土で止めようとしたので、この坂を「血止めの坂」と言っています。



資料提供者／川崎あさ子氏

# 市議会へ行こう

令和4年 第4回定例会会期日程 (案)

月	火	水	木	金
11/21	22	23 勤労感謝の日	24	25 本会議
28	29	30	12/1	2
5	6 一般質問	7 一般質問	8 産業厚生委員会	9 総務文教委員会
12	13	14	15	16
19 本会議	20	21	22	23

※本会議は、市役所3階の議会傍聴席にて傍聴できます。  
 (新型コロナウイルス感染症対策のため、マスク着用の遵守や傍聴を制限する場合があります。本議会の様子はライブ・録画配信をしていますので、インターネット中継をご覧ください。)  
 ※委員会の傍聴は、事前に委員長長の許可が必要です。  
 ※請願等の受付締切日は、議会運営委員会前の11月18日です。  
 ※11月25日、12月19日の本会議は午前10時から、一般質問及び各委員会は午前9時30分からの開会予定です。  
 ※日程は変更になる場合がありますので、議会事務局までお問い合わせください。

## 編集後記

9月に襲来した台風14号、気象庁から経験したことのないような暴風、記録的な大雨などの情報が出ておりましたが、垂水市では、幸いにして人的被害はありませんでした。地球温暖化による気象現象の激甚化は、今後さらに激しくなると言われていきます。市民の皆様におかれましては、情報の収集と早めの行動をお願いいたします。

今年も残り1ヶ月程度となりました。忙しい季節となりますが、事故等無いようお気をつけください。議会編集委員会として、市民の皆様にご意見の動きをわかりやすくお伝えするよう心掛け、議会だよりを作成しております。皆様にご近所感を感じていただくよう努めてまいります。ご意見・ご要望等ありましたら、事務局までご連絡ください。  
 それでは少し早いです、よいお年を。